

ひでお行動

VOL.27

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

8月9日



今日は長崎「原爆の日」である。社民党県連として「平和大会」「平和の火リレー」「カンパ」など企画開催しているが、以前

のように、地域運動を盛り上げ、県大会を開催し、広島、長崎へ代表団を派遣すると言う視点は薄い、日程消化的な取組みになっている事を反省する。

秘書Aは東沼道路期成同盟総会に出席の為、久しぶりに山形まで運転し社民党平和センター4役会議に出席する。統一地方選の方針について意見交換する。参議院議員選挙を丁寧に総括しない限り展望は見えないし、9月末まで新人擁立も含めて検討していくことを確認する。ひ

でお通信、ニュースについても意見交換する。秘書Aは明日の事務所移動手伝いの為、夜行バスで上京する

8月10日

[後援会総会ビアパーティー]に出席頂いた企業、団体にお礼回りしながら、今日も山形へ、

これまで県職労委員長、労働金庫運動で活躍した「S氏に感謝する集い」に出席、S氏も団塊の世代である。労働運動の高揚期、党派論議など一緒に活動してきた仲間である。現役を退いても運動を続けていく仲間である。出席した多くの方々と意見交換、社民党を心配してくれる声が多い。終了後、県連幹事長のなじみの店で2次会、山形とまり。

8月11日



朝6時ホテル出発し、事務所経由で秋田県連選挙総括会議に出席。

昨日、国会旧事務室から机等、運送会社トラックに同乗して運び朝ついた秘書Aと合流する、机等事務所に下ろして終った処につく。Aから秋田県連合まで運転してもらう。10時半ギリギリ間に合う。

さすが、秋田県連合である。「時間をかけて丁寧な総括運動をやりきり、統一地方選につなげよう。」と県連としての総括たたき台を提案し、昼ぬいて1時過ぎまで議論、その後2時からOB、OGの会議と続く。OBの会議にも出席したかったが、6時からの「社民党山形支部定期大会」の為、退席する。

秋田、山形間3時間半要する。県連内で一番組織がしっかりしている山形支部。学ぶべきものが多い。班会議など開き原則的な運動を展開している。党費などは銀行振り込みを利用している。しかし、職場の転勤等で結集できない党员、今の状況では党员拡大オルグに戸惑うなど率直など本音もでる。終了後、役員懇談会開かれ結束を図る。役員としての苦労話、グチもこぼれる。組織運動として大事な時間であり懇談会である。最後まで付き合い、自宅へ、12時廻る。

8月12日

明日から地元事務所S氏が17日までお盆休みに入る。その間の打ち合わせ、政策秘書より18日青少年特別委員会開催、15分の質問時間と連絡入る。児童虐待についての集中質疑である。日程調整し質問内容検討に入る。

夜は「日中友好の旅」の反省会に出席し、庄内町の真夏の祭典「夏宵まつり」に参加、残念ながら雨で会場は体育館に変更になる。飛竜囃子にあわせ、激しい動きで舞う踊り手、汗びっしょりである。観客も踊り手に大きな声援を送り一体となる。



8月13日

お盆であるが、朝早くから農協組合長から連絡入る。農協において21年度産米在庫問題につ



いて意見交換、早場米が市場に出てきている中で21年度産米を抱えている東北、北海道の農協、「投売りのな価格で放出せざるを得ない、」と悲痛な相談である。政府の買上げ意思無し、備蓄米、適正価格など先日の委員会においての大臣答弁など納得できるものではない。農林水産筆頭理事と電話連絡し、休会中の委員会開催するように働きかける。

党员拡大に向けてリストアップしていたメンバーと昼時間に逢い5名全員「社民党の危機感」を共有し頑張る決意を確認する。辻元議員離党問題等厳しい状況の中で、新たに決意をしてくれる仲間感謝しながらも責任の重さも痛感する。

夜は地元の夏祭りである。帰省している同級性

とも会うことができ話題が弾む。マスコミなどで報道されている社民党の現状に対する質問は多い。地元に関心かけている事に、申し訳なく思うし党の再建に向けて頑張らなければ.....

8月14日

米国景気の先行きに対する不安が増大し、ドル売り円買いの動きが止まらない。ギリシヤ危機でのユーロに続いてドルが売られ、日本は巨額な財政赤字を抱えているのに、円が買われるという展開



このままでは1ドル80円切ると予想する関係者も出てきている。輸出に依存する日本経済、設備投資、雇用、消費などに悪影響を与え、円高で輸入品か格安で物価全体が下がり続けるデフレからの脱却にもマイナス材料である.....海外向けの中古車販売を営んでいる社長から悲鳴の声が上がる。

8月15日

「終戦記念日」である。戦後65年を経過したが、傷跡は韓国はじめアジア太平洋の各地にいまだに深く刻まれている。あらためて、過去の過ちを真正面に向き合い世界平和と核兵器廃絶に向けて一人ひとりが努力することを確認する日でもある。

2時から地元の成人式に出席する。華やかだ雰囲気会場は包まれている。私の選挙区では夏の成人式が多い。



8月16日

縫製加工業の(株)K(本社、渋谷区千駄ヶ谷)は山形県鶴岡市工場と福島県相馬市工場の操業を停止し、全従業員376人を一方的に7月末で解雇した。

今日はこの問題で、午前中、労働基準監督署、ハローワーク、午後から鶴岡市役所、山形県庄

内総合支所に出向き、情報収集と対策検討である。少し小金が溜まった事業主が、安い労働力を求め東北の田舎に工場を建て、順調に業績を伸ばし工場を新築し、まだまだ余力があるのに、操業を停止し通告もなしに一方的に解雇する。こんなやり方を許すわけにはいかない。

地元として1日も早く操業を再開して欲しいという思いはあるが、解雇された従業員の退職金はじめとする労働債権を放置したまま再開し、それ以降利益で支払うと言う会社側の考えは通じない。まずは本社管理であるため渋谷の労働基準監督署からの強い指導を願いながら、地元対策を講じなければならない。連合などまだ盆休みであるが、関係機関と連携を持ちながら進めていく.....

